

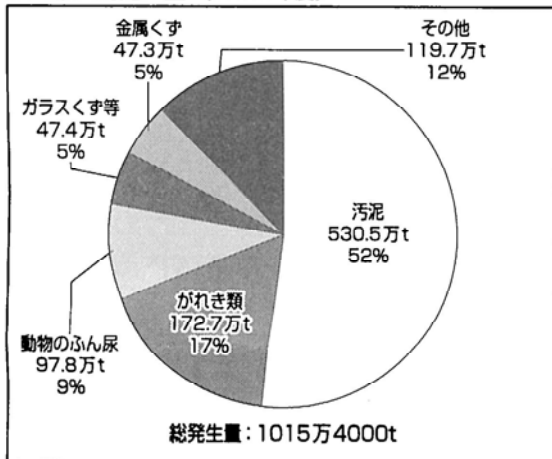
三重県

北部にある工業地帯からの排出量が顕著

三重県の産廃発生量 種類別発生量は、汚泥が530.5万5000t(52.2%)と最も多く、次にがれき類172.7万t(17%)、動物のふん尿97.8万t(9%)、建設業204万9000t(20.2%)、鉱業有償物量は57万7000t(15.6%)の順となっている。

04年度実績と比較すると、発生量は304万7000t、排出量は269万4000t増加。特に汚泥、がれき類、ガラスくず等が著しく増えた。業種別では、1位の製造業が223万7000t、建設業が60万9000t、電気・水道業が19万5000t増加している。また、発生量に対する各処理量の割合については、最終処分量が127.2%と大きく増加した。

三重県産廃発生量 (2008年度)



伊勢志摩地域では観光業も盛ん